

有機100%……酵素のカタマリ

バイオ有機質化成肥料

エンザアミン

細粒

普通粒

NET20kg

保証成分%

11-0-5

酵素の役割



エドゥアルト・ブフナー

全生物の生育維持には、例外なく多種多用の酵素（タンパク質 \oplus 低分子）が関与している。

作物が安定して多収穫を挙げるためには酵素の触媒反応により必須養分であるタンパク質やデンプンを絶えることなく合成保持させることである。

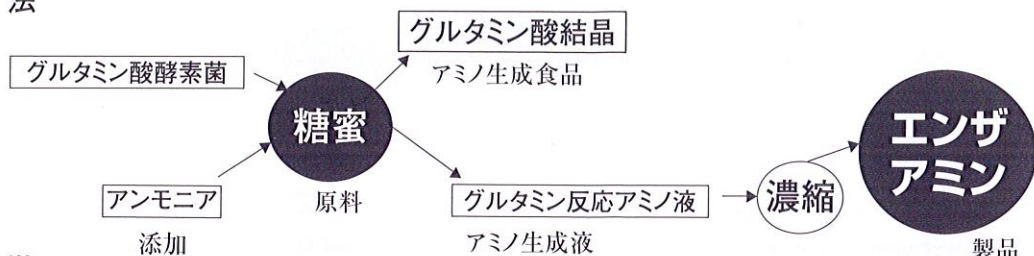
……1907年ノーベル賞学者エドゥアルト・ブフナー他
1833年～1997年20名のノーベル賞学者



サン化研株式会社

— エンザアミンとは…?! —

1. 製法



2. 特徴

① 酵素群の濃厚集団

含有酵素の
役割

プロテナーゼ…タンパク質合成
 アミラーゼ…デンプン合成
 カタラーゼ…生物細胞合成

作物の
生育活性
維持

② 肥効の力

有機100%のエンザアミンは、酵素（プロテナーゼ、アミラーゼ、カタラーゼ）入りのアミノ酸有機質肥料です。従って、作物は生育の長期維持、良品質の多収穫が期待できます。

“エンザアミン”施肥による芝生産量調査試験

サン化研(株)研究室

	芝生 (コウライ)				
	直立茎重 (g)	ほふく茎重 (g)	根重 (g)	全芝重 (g)	比 (%)
有機化成区	18.2	30.5	8.4	57.1	100
エンザアミン区	18.6	32.9	9.3	60.8	106
比(%)	102	108	111	107	

試験内容

- ① 期日: 2009. 3. 25 ~ 10. 25
- ② 場所: 大分県国東郡国東町・サン化研(株)研究管理圃場
- ③ 方法: 1回(5/10) 2回(9/15)
 試験区…有機化成区(8-8-8) 40g 30g
 エンザアミン区(10-0-4.5) 50g —
 試験面積…1㎡
 管理…慣行に順ずる
- ④ 調査: 方法…ホールカップ(直径10.5cm)当りの芝生部分別重量測定
 実施…各月10日調査、期間中7回

③ 酵素1パツの力

酵素の働きで、作物の光合成を助け、エネルギーを代謝させて良品質、多収穫を増長させます。

作物	作付	施肥	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
芝生	フェアウェイ	一般					⊕						⊕	
		エンザアミン					⊕							

作物	作付	施肥	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
トマ	促成	一般		⊕	—	⊙								
		エンザアミン		⊕	—	⊙								

3. 施用

① 粒型の特性

粒型 3 mm の普通粒が美しく揃っています。又、溶解性は施用後直ちに成分の溶出が始まり、その後緩効持続的に肥効力を発揮してくれます。

② 施肥基準

作物	施肥時期	施肥量 (10a 当)	施肥ポイント
芝生	春(3~4月) 秋(9~10月)	30~50g/m ² 30~50g/m ²	全グラウンド表層施用 —
野菜 (果菜・根菜・葉菜)	元肥 追肥	100~150kg 80~100kg/1回	全面施用耕起混合 畦面表層施用